



C-Cleaner 使用方法の解説（復習編）

■ CCleaner は2012年7月に紹介しましたが、最新のバージョンのDLと使用方法を解説します。

§1. 概要

CCleaner はシステム最適化とプライバシーのためのフリーツールです。システム中の不要なファイルを取除くことで、Windows を快適にし、ハードディスクの空容量を増やします。また、インターネットの履歴のようなオンラインの行動の足跡もクリーンにします。CCleaner は起動を速くすることと、スパイウェアやアドウェアを存在しないようにする目的で作られています。

CCleaner は有用な情報やまだ必要な情報が削除されないように複数のレベルでチェックが行われています。なお、このソフトは英国生まれですが日本語翻訳版があり、ダウンロードの際に選択出来ます。

クリーンにする Windows コンポーネント

* Internet Explorer 関係

- 一時ファイルキャッシュ
- URL の履歴
- クッキー
- 非表示属性の Index.dat ファイル
- 最後にダウンロードしたファイルのロケーション

* Firefox 関係

- 一時ファイルキャッシュ
- URL の履歴
- クッキー
- ダウンロードマネージャ

* ごみ箱

* Windows 一時ファイル

* Windows ログファイル

* スタートメニューの「最近使ったファイル」

* スタートメニューの「ファイル名を指定して実行」の履歴

* サーチアシスタントの履歴 (Windows XP)

* 古いプレフェッチデータ (Windows やアプリケーションの起動を高速化するための機能) (Windows XP)

* クラッシュ後のメモリダンプ

* 断片化したチェックディスクファイル

§ 2. 使用方法

2-1. C Cleaner の起動

インストール後の起動方法には以下の二通りがあります。以下の起動方法は、インストール時の設定に依存します。

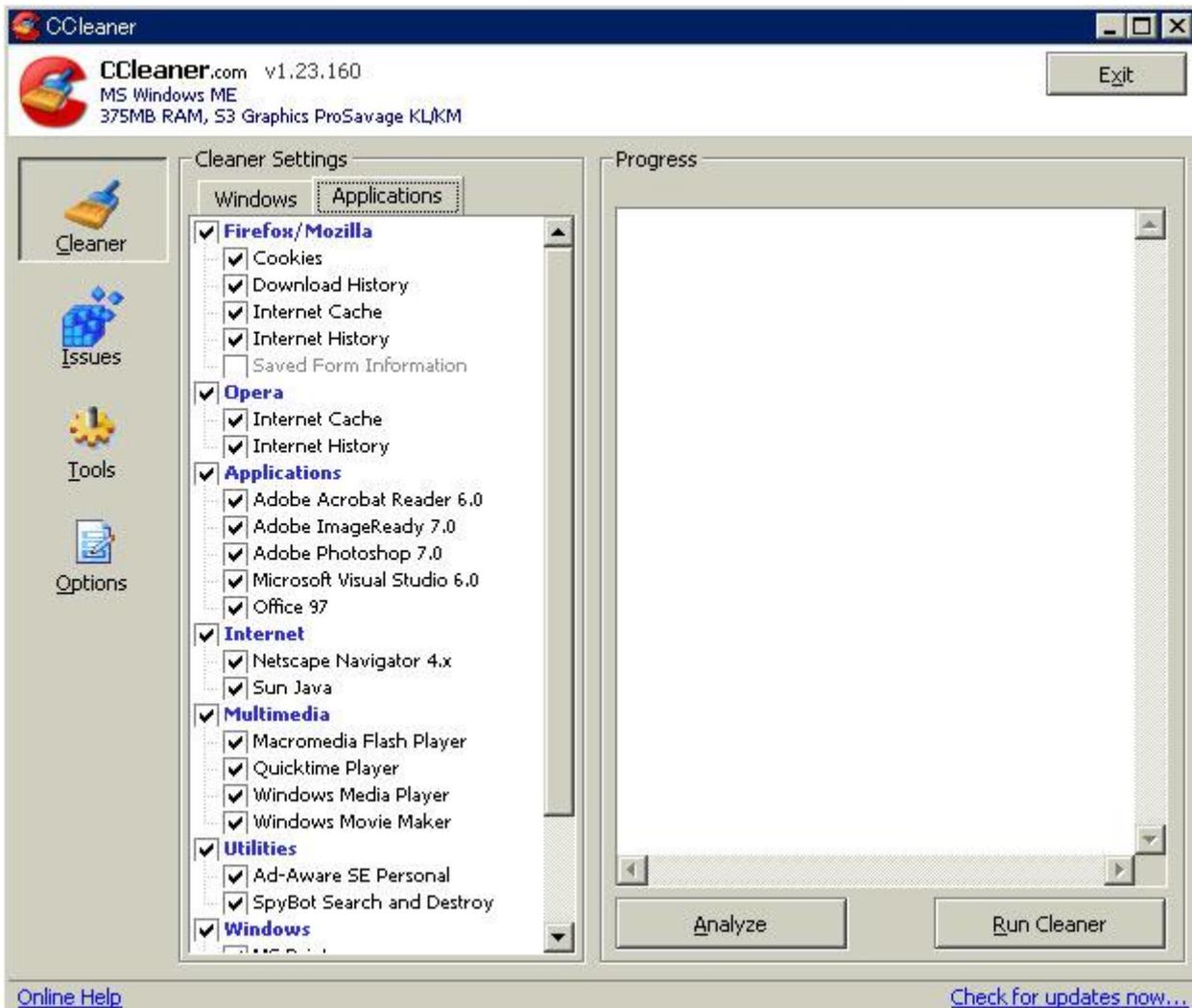
- デスクトップに作成されたアイコンをダブルクリックする。
- スタート>プログラム>CCleaner をクリックする。
- デスクトップのごみ箱を右クリックし CCleaner の起動を選択。

ごみ箱のメニューには何ら準備無しにシステムをクリーンにする、“Run CCleaner”と CCleaner を開く “Open CCleaner”の起動オプションもあります。“Run CCleaner”起動オプションメニューの使用は、ユーザがこのソフトを十分理解するまではお奨めいたしません。

2-2. 起動画面(メイン ウィンドウ)

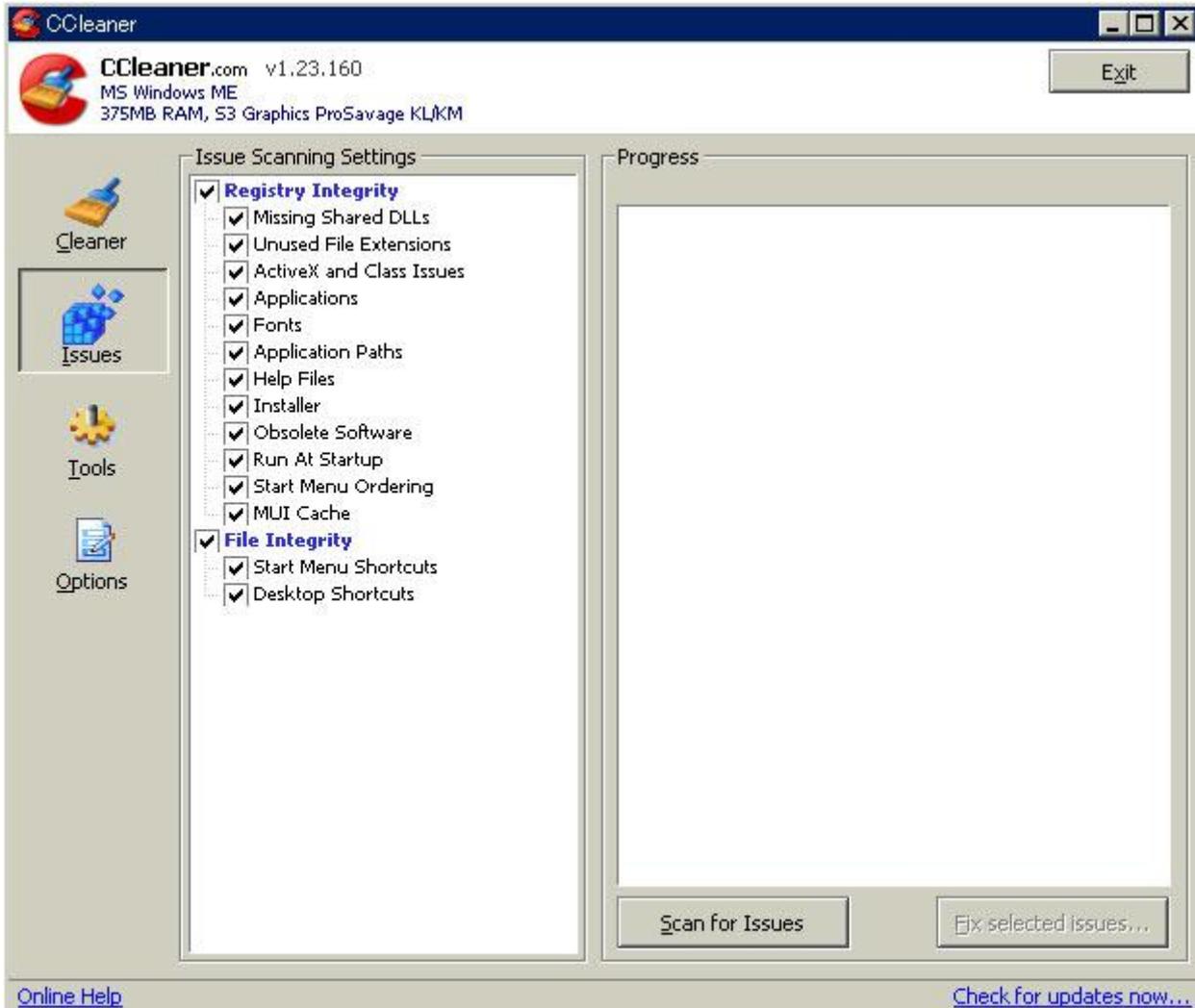
CCleaner を起動すると、“スタートアップ画面の日本語解説”で示したものと類似の画面となります。CCleaner は左側のナビゲーション部分に四つのアイコンを持っています。それぞれ以下の役割が割り当てられています。

Cleaner



このプログラムの最も主たる機能です。 unnecessaryなファイルや一時ファイルを削除することによってシステムの最適化を行います。また、訪問したサイトや開いたファイル(MRU)の追跡記録を削除することによって個人情報を守ります

Issues



これはコンピュータのレジストリを解析し、あらゆる問題と矛盾している存在を修正する少し高度な機能です。デスクトップ上とスタートメニュー中の古いショートカットもチェックします。

Tools

このセクションはコンピュータを稼動したときに起動するプログラムやアプリケーションの取扱方を設定できます。

Options

オプションでは CCleaner の稼動方法に関する嗜好を幅広く取り扱えます。

2-3. CCleaner の設定

CCleaner の設定はナビゲーションボタン右側ペインに表示されているチェックボックスのリストで行います。ユーザが Cleaner モードを選択したときに表示されます。

“Analyze”も“Run Cleaner”も“Windows”タブと“Application”タブの両方の設定を基に一度に行うの

で、両方の設定項目を CCleaner の実行前に設定しておきます。

右ペインの“Cleaner Setting”の Windows タブで、クリーニングプロセスにアイテムを含ませるオプションにはチェックを入れます。クリーニングプロセスからオプションを外す場合はチェックを外します。

例えば、Cookie オプションのチェックを外すと、Internet Explorer の Cookie は削除されません。

隣に Applications と名付けられたタブがあります。これはユーザがインストールしたサードパーティー製アプリケーションに関する追加のクリーニングオプションのリストを表示しています。このリストは新しいプログラムがインストールされると自動的に変更されます。Microsoft 以外のアプリケーションが、Windows 標準コンポーネントに残した古いファイルと設定をクリーンアップします。例えば、テンポラリファイルや履歴データ等。

なお、Firefox や Opera のデータの削除にも対応しています。共に初期設定のままでの利用をお奨めいたします。

2-4. CCleaner の実行

クリーナーを実行しファイルを削除するためには、単純に“Run Cleaner”ボタンをクリックするだけです。

もしも、ファイルが削除される前に、どのようなファイルが削除されるのか知りたい場合には、Analyze ボタンをクリックしてください。

ボタン上部のアウトプットウィンドウは Analisis(アナリシス)、または Cleaning Process(クリーニングプロセス)のログを表示しています。

5-5. Issues

『Issue(問題点)部分セクションはエラーとシステムレジストリの古いエントリの発見を助けます。これは経験あるユーザには意味のあるものですが、初心者には意味を持ちません。』とユーザズガイドには記されていますが、この機能を実行しないとレジストリがクリーンになりません。めったに無い事ですが、ユーザが後で必要とする何かを削除するかもしれません。ユーザがバックアップをリストアすることで回復させることができるようにするために、CCleaner は完全なバックアップオプションを含んでいます。冒頭にも記しましたが、レジストリクリーナーは危険を伴います。それを承知の上ご利用ください。

検索対象は

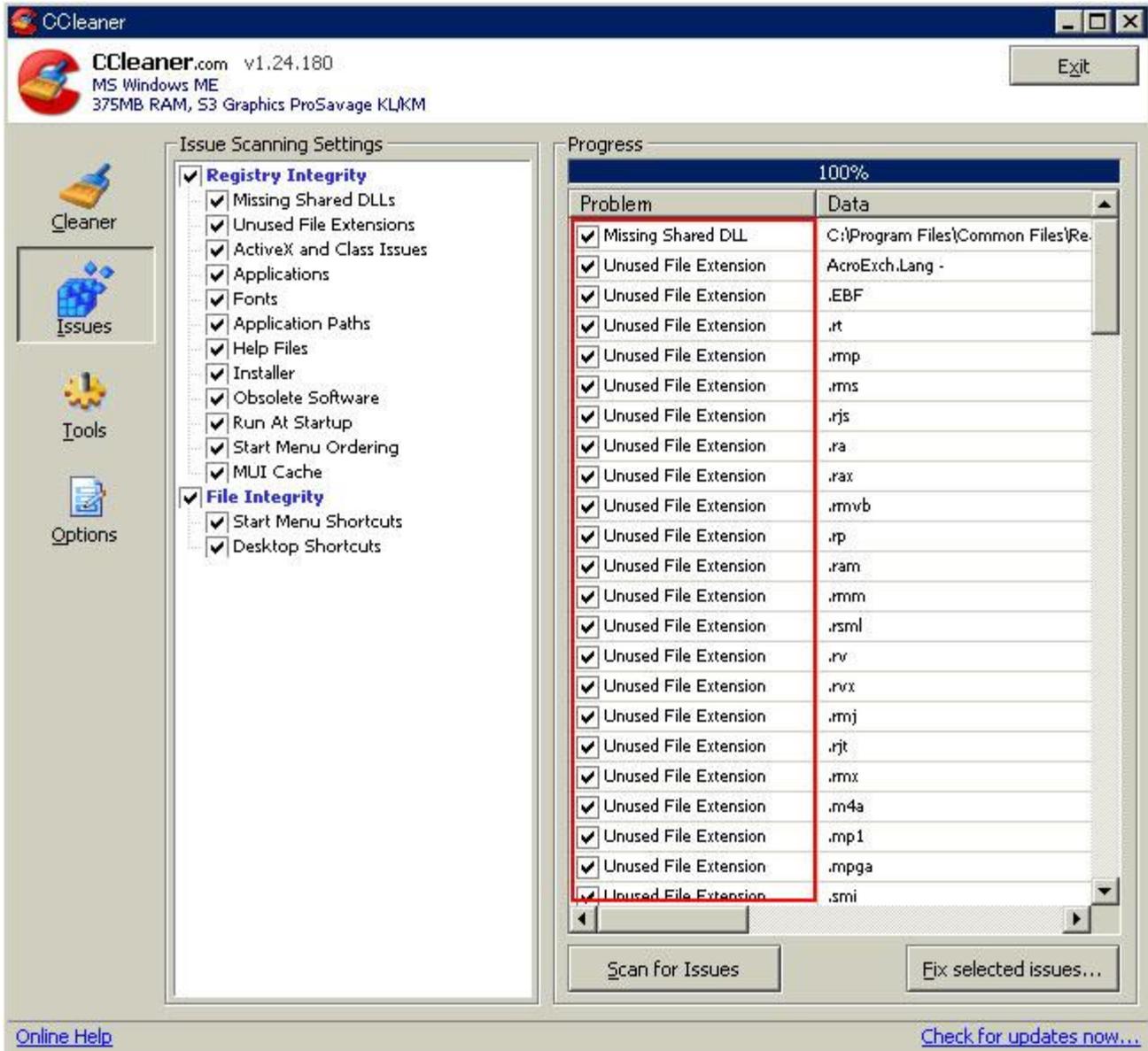
- * File Extensions(ファイルの拡張子の関連付け)
- * ActiveX Controls(ActiveX コントロール)
- * ClassIDs(クラス ID)
- * ProgIDs(プログラム ID)
- * Uninstallers(アンインストール情報)
- * Shared DLLs(共有 DLL)
- * Fonts(フォント)
- * Help File references(Help ファイル)
- * Application Paths(アプリケーションのパスの情報)
- * Icons(アイコン)
- * Invalid Shortcuts and more...(無効なショートカット等)
-

実行方法

使用方法は単純に“Scan for Issues”ボタンをクリックし、それから“Fix Selected Issues”ボタンをクリックするだけです。

(1) 設定は既定のまま、“Scan for Issues”をクリックします。

(2)



スキャンが終了すると上図の画面になります。

上図の赤枠部分の説明です。

- Missing shared dll : 見つからない共有 DLL
- Invalid file extension : 無効な拡張子
- Open with application issue : アプリケーションの問題となる予兆
- Invalid default icon : 無効なアイコン
- ActiveX/COM issue : ActiveX および COM の問題点
- Application paths issue : アプリケーションパスの問題点

- Help file issue : ヘルプファイルの問題点
- Uninstaller reference issue : アンインストーラ参照の問題点
- Installer reference issue : インストーラ参照の問題点
- Obsolete software key : 使われていないソフトウェアのキー
- その他「情報のないクラス」「未使用のソフトウェア情報」等
-

(3) "Fix Selected Issues" をクリック。全て削除しても良いか否かのメッセージボックスが表示されるので OK をクリックします。

(4)



上図は全ての問題点をフィックスしたあとの画面ですが、この画面類似のダイアログが表示されますので、“Fix All Selected Issue” ボタンをクリックします。

レジストリのバックアップファイルの保存ダイアログが表示されますので、保存します。

削除後は上図の画面となりますので “Close” 選択してダイアログを閉じます。

2-6. Tool

ツールセクションには経験あるユーザのために二つの部品が置いてあります。

UnInstall

Windows はインストールされたプログラムを削除するためにコントロールパネルを持っていますが、アンインストールしても「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から、この情報を消さないアプリケーションが存在します。そのような場合、このツールで編集・削除することが出来ます。

Start Up

多くのコンピュータは、Windows を起動したとき同時に起動する多くのプログラムを持っています。そのため、これらプログラムを削除することや、発生したハプニングを防ぐことが困難です。このツールはスタートアッププログラムをリストアップし削除するための機能です。

2-7. Option

オプションセクションでは CCleaner の起動方法のカスタマイズが出来ます。

例えば、“Run CCleaner when the computer start.” にチェックを入れておけば、コンピュータのスタートアップで CCleaner を起動し、何の心配もなしに自動的にコンピュータをクリーンにすることが出来ます。

§3. Advanced

アドバンスドオプションに関しては省略します。Default 設定のままご利用ください。

§ 4. その他

- (1) CCleaner のプログラムアップデート時に、今までの CCleaner をアンインストールする必要はありません。
- (2) CCleaner は複数のユーザーアカウントを一度にクリーニングすることは出来ません。クリーニングを行うのは現在ログオンしているユーザーアカウントのデータのみです。
- (3) アドミニストレータ権限で CCleaner を起動することを推奨します。通常のもしくは制限されたユーザとして実行することもできますが、いくつかのファイルは削除されない可能性があります。
- (4) レジストリバックアップからリストアするには、Explorer (IE ではない) を立ち上げ、CCleaner でバックアップしたレジストリファイル(*.REG) 上で右クリックし、表示されたコンテキストメニューで「結合」を選択します。初期設定のままレジストリ バックアップ ファイルを保存した場合は、My Documents フォルダに保存されています。

参考 Site

<http://hippo.flnet.org/AtTheSpring/UsingCCleaner.html>

メモ: